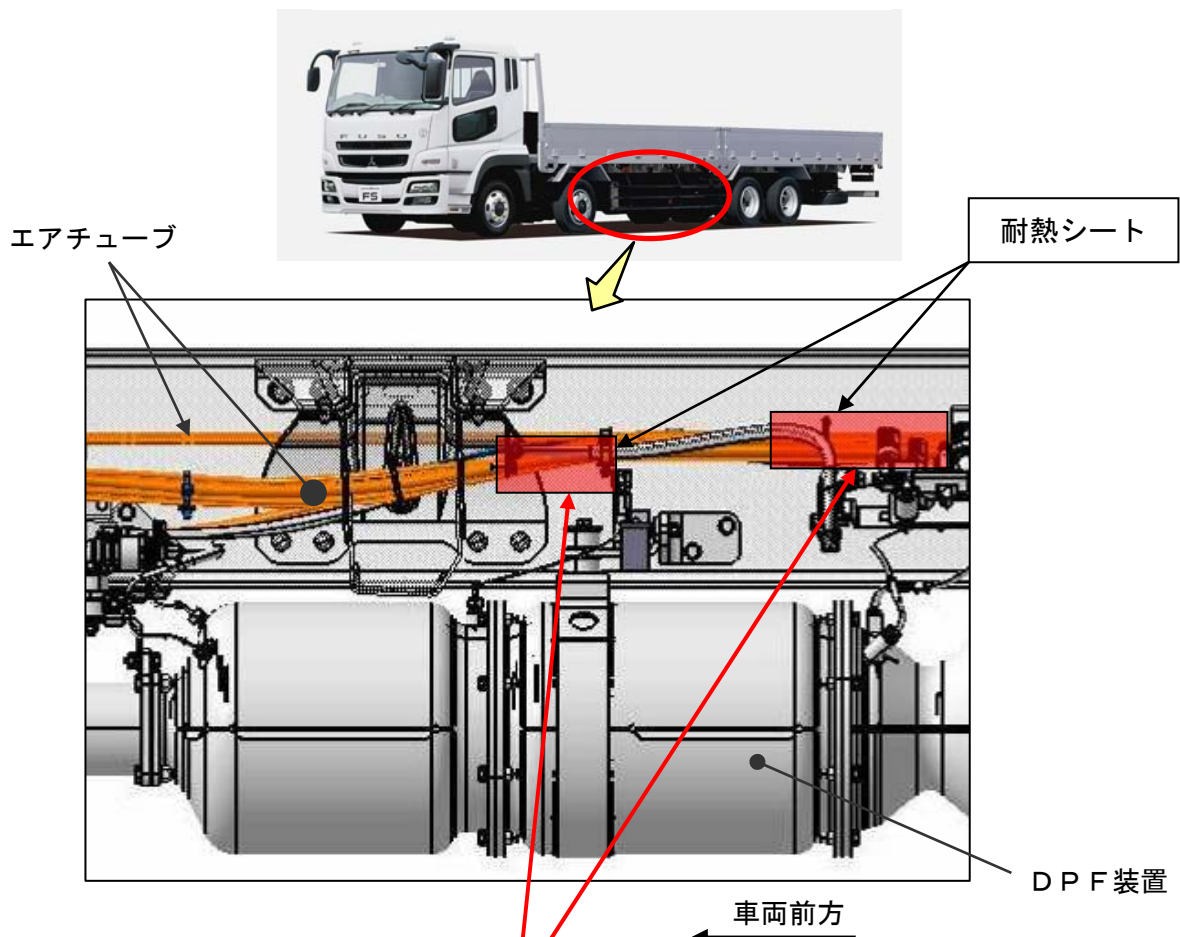
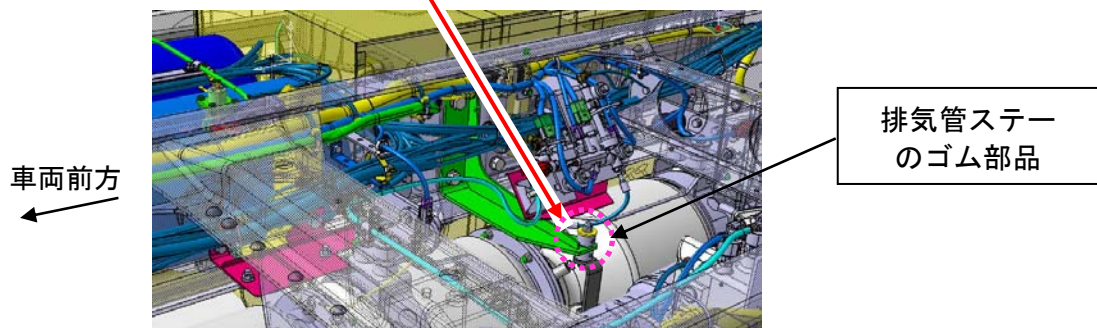


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所



《排気管改造車両》

大型トラックのエアブレーキにおいて、DPF装置上部のエアチューブの耐熱性が不足しているため、DPF装置の熱の影響により、エアチューブの一部が溶損してエアが漏れるものがある。そのため、制動力の低下または駐車ブレーキが解除不能になるおそれがある。

また、標準車と排気管の取付構造が異なる冷蔵冷凍車において、排気管ステーのゴム部品の耐熱性が不足しているため、DPF装置の熱の影響によりゴムが劣化すると、取付部のガタが大きくなり異音が発生するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、DPF装置上部のエアチューブに耐熱シートを追加する。また、排気管の取付構造が異なる冷蔵冷凍車は、併せて排気管ステーのゴム部品を対策品に交換する。

注：□は、追加または交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD175」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。